

1. 科目名 (単位数)	社会福祉原論	3. 科目番号	SSMP1103
2. 授業担当教員	佐藤 広崇		
4. 授業形態	講義、ディスカッション	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	社会福祉の原理や理論、福祉政策、福祉サービスの供給体制などについて、概念や理念、歴史的展開などを踏まえて理解する。さらに、社会問題と社会構造の関係や国際比較の視点などを通して、日本の社会福祉の特性や今後のあり方についても考察を深める。		
8. 学習目標	以下について学習し、理解できるようになる。 1 社会福祉の原理をめぐる思想・哲学と理論を理解する。 2 社会福祉の歴史的展開の過程と社会福祉の理論を踏まえ、欧米との比較によって日本の社会福祉の特性を理解する。 3 社会問題と社会構造の関係の視点から、現代の社会問題について理解する。 4 福祉政策を捉える基本的な視点として、概念や理念を理解するとともに、人々の生活上のニーズと福祉政策の過程を結びつけて理解する。 5 福祉政策の動向と課題を踏まえた上で、関連施策や包括的支援について理解する。 6 福祉サービスの供給と利用の過程について理解する。 7 福祉政策の国際比較の視点から、日本の福祉政策の特性について理解する。		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	前半期と後半期にそれぞれ1回ずつ (計2回) 課題レポート (確認テスト形式) を実施する。また、授業内で簡単なレポートやリアクションペーパーを課すことも予定している。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 最新社会福祉士養成講座4「社会福祉の原理と政策」中央法規。 【参考書】 東京福祉大学編『新・社会福祉要説』ミネルヴァ書房。 東京福祉大学編『保育児童福祉要説』中央法規。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	成績評価の規準 7つの目標について関心を高め、意欲的に取り組むことができたか。(関心・意欲・態度) 7つの目標について学習し、理解することができたか。(知識・理解) 7つの目標について思考し、考察を深めることができたか。(思考・判断・実践)・評定の方法 (1) 平常点 (授業態度・発表・発言・学習課題など) 40% (2) 課題レポート 30% (3) 定期試験 30% なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位の修得を認めない。		
12. 受講生へのメッセージ	1. 遅刻、欠席の無いようにすること。やむを得ず欠席する (した) 場合は書面で教員に届け出ること。 2. レポートの提出期限を遵守すること。提出期限後の提出は減点の対象となる。 3. 私語や居眠り、学習テーマ以外の作業、携帯電話の使用、その他授業を妨げる行為を禁止する。違反者は受講態度で減点の対象となる。 4. 教員が発言を促した時には、間違っても良いので、積極的に自分の考えを述べてほしい。		
13. オフィスアワー	別途、授業内で指示をする。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション、社会福祉とは何か①社会福祉の原理、政策、実践	事前学習	事前に講義概要について目を通しておく。
		事後学習	社会福祉とは何か、自分の考えをまとめる。
第2回	社会福祉とは何か②制度政策としての社会福祉、実践としての社会福祉	事前学習	配布資料、教科書の指定箇所を読む。
		事後学習	社会福祉と福祉政策の関係についてまとめる。
第3回	社会福祉とは何か③社会福祉の理念1: 生存権とナショナルミニマム	事前学習	配布資料、教科書の指定箇所を読む。
		事後学習	人権や生存権についてまとめる。
第4回	社会福祉とは何か④社会福祉の理念2: ノーマライゼーション、自立支援、社会的包摂	事前学習	配布資料、教科書の指定箇所を読む。
		事後学習	ノーマライゼーション、自立支援、社会的包摂についてまとめる。
第5回	わが国の社会福祉の歩み①戦前	事前学習	教科書 pp. 34~40 を読む。
		事後学習	戦前の社会福祉の歩みをまとめる。
第6回	わが国の社会福祉の歩み①戦後	事前学習	教科書 pp. 40~45 を読む。
		事後学習	戦後の社会福祉の歩みをまとめる。
第7回	英米の社会福祉の歩み①生成期、発展期	事前学習	教科書 pp. 22~26 を読む。
		事後学習	英米の社会福祉の発展期についてまとめる。
第8回	英米の社会福祉の歩み②成熟期、転換期	事前学習	教科書 pp. 26~33 を読む。
		事後学習	英米の社会福祉の成熟期についてまとめる。
第9回	現代における社会福祉①社会福祉の考え方	事前学習	配布資料、教科書の指定箇所を読む。
		事後学習	自己決定とパターンリズムについてまとめる。
第10回	現代における社会福祉②社会福祉の理論; 確認テスト①	事前学習	教科書 pp. 282~288 を読む。
		事後学習	福祉レジーム論についてまとめる。
第11回	社会福祉政策と福祉ニーズ①ニーズ (必要) とデマンド (需要) について	事前学習	教科書 pp. 134~151 を読む。
		事後学習	ニーズとデマンドの違いについて理解する。
第12回	社会福祉政策と福祉ニーズ②資源 (リ	事前学習	教科書 pp. 152~163 を読む。

	ソース)の考え方について	事後学習	社会資源の考え方について理解する。
第13回	社会福祉関係法制と運営①法源としての憲法	事前学習	配布資料、教科書の指定箇所を読む。
		事後学習	法源としての憲法を理解する。
第14回	社会福祉関係法制と運営②国際的条約と社会福祉	事前学習	配布資料の指定箇所を読む。
		事後学習	国際条約と社会福祉の関係を理解する。
第15回	社会福祉関係法制と運営③社会福祉六法と社会福祉法	事前学習	教科書 pp. 194～200 を読む。
		事後学習	社会福祉六法と社会福祉法を理解する。
第16回	社会福祉関係法制と運営④様々な福祉の法律	事前学習	配布資料の指定箇所を読む。
		事後学習	様々な社会福祉の法律を理解する。
第17回	社会福祉行政の理解①社会福祉行政	事前学習	配布資料の指定箇所を読む。
		事後学習	社会福祉行政の体系をまとめる。
第18回	社会福祉行政の理解②社会福祉財政と費用徴収	事前学習	配布資料の指定箇所を読む。
		事後学習	社会福祉財政と費用徴収をまとめる。
第19回	民間福祉活動の理解①先進的な取り組みと制度化	事前学習	配布資料の指定箇所を読む。
		事後学習	民間福祉活動と国の制度の関係をまとめる。
第20回	民間福祉活動の理解②社会福祉法人、NPO 法人ほか；確認テスト②	事前学習	配布資料の指定箇所を読む。
		事後学習	社会福祉法人、NPO 法人についてまとめる。
第21回	社会福祉援助の体系と担い手①社会福祉援助技術の体系	事前学習	配布資料の指定箇所を読む。
		事後学習	社会福祉援助技術の体系をまとめる。
第22回	社会福祉援助の体系と担い手②福祉専門職を取り巻く現状と課題	事前学習	配布資料の指定箇所を読む。
		事後学習	福祉専門職を取り巻く現状と課題をまとめる。
第23回	福祉政策と関連施策①保健医療政策	事前学習	教科書 pp. 224～227 を読む。
		事後学習	保健医療政策についてまとめる。
第24回	福祉政策と関連施策②教育政策	事前学習	教科書 pp. 228～232 を読む。
		事後学習	教育政策についてまとめる。
第25回	福祉政策と関連施策③住宅政策	事前学習	教科書 pp. 233～238 を読む。
		事後学習	住宅政策についてまとめる。
第26回	福祉政策と関連施策④労働政策	事前学習	教科書 pp. 239～244 を読む。
		事後学習	労働政策についてまとめる。
第27回	福祉政策と関連施策⑤災害政策	事前学習	教科書 pp. 245～251 を読む。
		事後学習	災害政策についてまとめる。
第28回	災害支援対策の実際	事前学習	配布資料の指定箇所を読む。
		事後学習	災害支援対策についてまとめる。
第29回	福祉政策と関連施策⑥多文化共生の実現に向けた施策	事前学習	教科書 pp. 202～209 を読む。
		事後学習	多文化共生とは何かについてまとめる。
第30回	まとめ；総まとめ確認テスト	事前学習	これまでの授業で扱った配布資料を読む。
		事後学習	これまでの授業で学んだことを振り返りまとめる。
期末試験			